

ページ	箇所	訂正前	訂正後
19	(2)シャルルの法則	～は絶対温度 T に反比例する。	～は絶対温度 T に 比例 する。
138	問 2 解説	$I=1.2$	$I=0.6$
140	問 2 問題文 全文変更	<p>電解質溶液の電気伝導率(導電率)に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。ただし、モル伝導率を Λ とする。</p> <p>1 強電解質の希釈溶液では、Λ は濃度に対して直線的に減少する。</p> <p>2 強電解質の濃度が高くなると Λ が小さくなるのは、陽イオンと陰イオンの相互作用によってイオンの働きが抑えられるからである。</p> <p>3 弱電解質では、濃度が高くなると急激に Λ が小さくなる。</p> <p>4 電解質の極限モル伝導率は、構成イオンの極限モル伝導率の差で表される。</p>	<p>電解質溶液の導電率に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>1 KCl のモル導電率は、濃度に対して直線的に減少する。</p> <p>2 KCl の極限モル導電率は、構成イオンの極限モル導電率の差で表される。</p> <p>3 KCl のモル導電率が LiCl のモル導電率より大きいのは、Li^+ が K^+ より強く水和しているため、Li^+ の移動が抑えられているからである。</p> <p>4 H^+ の極限モル導電率は、金属イオンの極限モル導電率より大きい。</p>
263	問 4 解説 ア	$=4.74 + \log \frac{0.200 \times 1/2}{0.200 \times 1/2} = 4.4$	$=4.74 + \log \frac{0.200 \times 1/2}{0.200 \times 1/2} = $ 4.74
356	問 15 解説 3	EDTA 1 モルは Al_2O_3 2 モルと反応する。	EDTA 2 モルは Al_2O_3 1 モルと反応する。
357	問 16 解説 4	対応量 = 3×0.05 (mol/L) $\times \sim$	対応量 = 1/3 $\times 0.05$ (mol/L) $\times \sim$
451	問 5 解説 2	～電子遷移が起こるエネルギーの大きさ、横軸は～遷移が起こる確率を～	～電子遷移が起こる 確率 、横軸は～遷移が起こる エネルギーの大きさ を～